



創業昭和7年 本店下北沢



昭和信用金庫

2022 昭和信用金庫の 現況

令和4年度 上半期のご報告 (令和4年4月1日~令和4年9月30日)

♡
大好きな
街
応援します



昭和信用金庫は大

平素は昭和信用金庫に格別のお引立てとご愛顧を賜り、
厚く御礼申し上げます。

皆さまにおかれましては、長引くコロナ禍にあって、
ご苦勞もいかにばかりかと案じております。
心からお見舞い申し上げます。

このたび、令和4年度上半期（令和4年4月～9月）の経営内容や
事業活動をご報告する『昭和信用金庫の現況2022』を作成いたしました。
是非お読みいただき、
当金庫について一層のご理解をいただければ幸甚でございます。

昭和信用金庫は、昭和7年の創業以来、
「相互扶助」「共存共栄」の精神のもと、
地域社会の繁栄に貢献することを経営理念に活動しております。
今後とも変わらぬご愛顧とご高配を賜りますよう、
心よりお願い申し上げます。

好きな街、応援します。

経営理念

昭和信用金庫は、創業の理念である「相互扶助」「共存共栄」の精神のもと、

第一に、
お取引先のご繁栄を願い誠意を尽くします。

第二に、
地域社会の発展に貢献いたします。

第三に、
調和のある健全経営を目指します。

中期経営計画を推進

昭和信用金庫は、
令和3年度からの中期経営計画で
「お客さまの役に立つ。」
～新たな社会環境における
『変わらぬお客様との長期的関係構築』
への取組み～を掲げ、
「お客さまの役に立つ。」の実現を
目指しています。

昭和信用金庫の概要

創 立：昭和7年12月17日

純 資 産：243億4,987万円

出 資 金：12億7,474万円

会 員 数：22,269名

本店所在地：世田谷区北沢1丁目38番14号

預 金：4,587億8,595万円

貸 出 金：2,121億106万円

店 舗 数：本支店19店舗、店外ATMコーナー2か所

役 職 員 数：312名

営 業 地 区：東京都23区、調布市、三鷹市、狛江市、国立市、
日野市、府中市、稲城市、武蔵野市、多摩市、
西東京市、小金井市、国分寺市、小平市、立川市、
東久留米市、および神奈川県川崎市多摩区、麻生区

(令和4年9月30日現在)

●記載している計数は、金額は単位未満を、%は小数点第3位を切捨てで表示しています。



「おかげさまで」90周年を迎えます

当金庫は、令和4年12月17日に創立90周年を迎えます。

当金庫の前身である「有限責任昭和信用組合」が昭和7年に創立されてから今日まで、「相互扶助」「共存共栄」の精神のもと、お客さまへの支援活動を行ってまいりました。これもひとえに、当金庫の活動を地域の皆さまにご理解いただき、またご支持をいただいたたまものであり、役職員一同、心よりお礼申し上げます。

これからも、地域や地域の皆さまとともに歩み、地域の発展に取り組んでまいります。今後とも、変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようよろしくお願いいたします。



昭和信用金庫「SDGs宣言」

当金庫は、令和4年6月に「SDGs宣言」を策定、目標達成のために取り組んでいます。

当金庫の創業の精神である「相互扶助」「共存共栄」は、調和のとれた発展を目指す「SDGs」と多くの共通点があり、当金庫は長年にわたりSDGsと関連のある活動を展開してきました。

当金庫では、「SDGs」達成に向け、次の取組みを推進しています。

1. 持続可能な地域経済の発展への取組み
2. 持続可能な地域社会の発展への取組み
3. 環境保全への取組み
4. 人材育成と働きがい向上の取組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



第9回「TOKYO三ツ星バザール」を開催します！

東京と地方の名品が新宿に大集合します！ 3年ぶりの開催となります！

入場は無料です。

当金庫のお取引先を中心に、42ブースの出展を予定しています。

- 日 時**：令和4年11月9日、10日
会 場：新宿駅西口広場イベントコーナー
主 催：昭和信用金庫
協 賛：公益財団法人世田谷区産業振興公社
特別参加：西武信用金庫、興産信用金庫、芝信用金庫、亀有信用金庫、西京信用金庫、東京三協信用金庫、銚子信用金庫、沼津信用金庫
後 援：経済産業省関東経済産業局、公益財団法人東京都中小企業振興公社、世田谷区 等



第8回開催時(令和1年11月)

各種セミナーを開催しました

終活セミナー

「エンディングノート」の書き方とこれから起きる可能性の高い医療・介護・相続問題等に関する予備知識を解説する終活セミナーを7月27日に開催しました。

講師にフコクしんらい生命保険から終活ライフケアプランナーを迎え、18人が参加しました。



事業再構築補助金 採択事業者向けセミナー

一般社団法人せたがや中小企業経営支援センターから講師を迎え、7月21日に開催しました。

7社から10人が参加し、交付申請と実績報告手続きにおける必要書類と注意事項についての説明を受けました。



経済産業省「4つの補助金」活用セミナー

業務効率化のためのITの活用、インボイス制度への対応などに利用できる「IT導入補助金」をはじめとした、補助金の活用方法を説明するセミナーをオンラインで開催しました。

大塚商会の主催、当金庫の協力のもと、5月26日に開催しました。



創業時の資金調達セミナー

創業融資を検討している創業希望者や創業して間もない方を対象としたセミナーを5月24日に開催しました。

融資の紹介だけでなく、創業融資の審査のポイントや事例などを、創業支援を行っている金融機関の担当者が本音で話すトークライブ型のオンラインセミナーです。

当金庫、多摩信用金庫、日本政策金融公庫の共催で開催しました。



三軒茶屋支店が仮店舗へ移転しました

5月6日より、当金庫の三軒茶屋支店は建て替えのため移転し、仮店舗で営業しています。

新店舗は、建て替え前と同じ場所で令和6年5月のオープンを予定し、昭和38年の建て替え以来、61年ぶりに生まれ変わります。

仮店舗所在地：東京都世田谷区太子堂1-12-40

※電話番号は変更ありません



三軒茶屋支店
仮店舗



新「三軒茶屋支店」完成イメージ

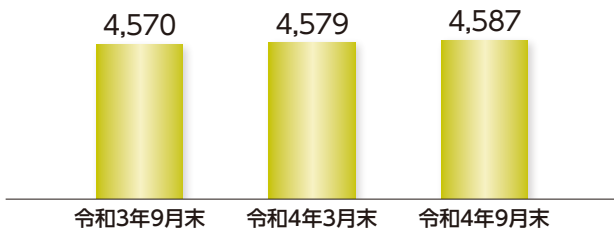
令和4年度上半期の業務概況

預金残高について

預金は、多くのお客さまからのご信頼をいただいた結果、前期比8億円増加し、4,587億円となりました。

これからも、お客さまのライフステージに応じて、ニーズに即した金融商品を提供していきます。

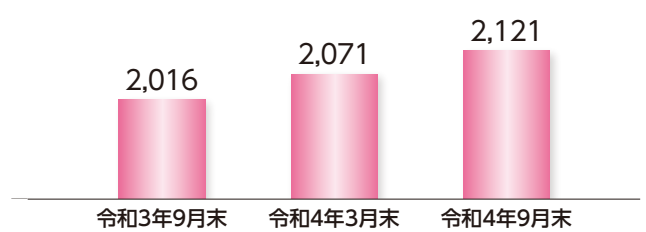
(単位:億円)



貸出金残高について

貸出金は、事業者の皆さまの資金繰り支援に取り組んだ結果、前期比49億円増加し、2,121億円となりました。これからも、厳しい状況が続く事業者の皆さまの支援に努めていきます。

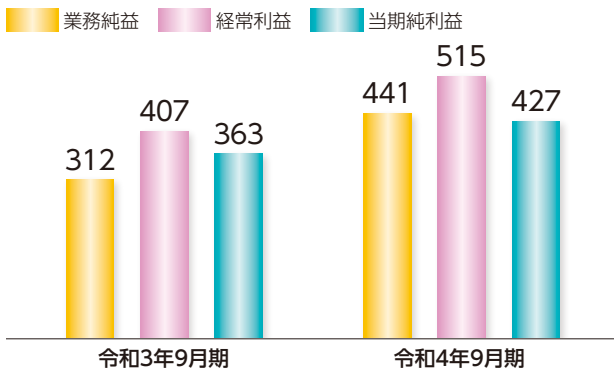
(単位:億円)



収益の状況について

業務純益については、貸出金の増加に伴う利息収入の増加などにより前年同期比で増益となりました。経常利益、当期純利益についても、同様に増益となりました。

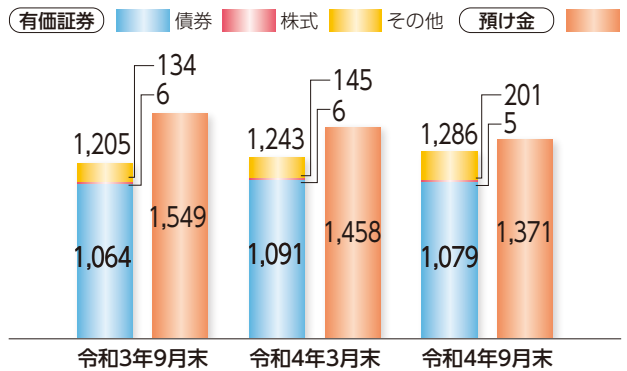
(単位:百万円)



有価証券等の状況について

皆さまからお預かりしている預金積金は、貸出金のほかに有価証券および預け金として運用しています。安全性・流動性を最優先にした、堅実な運用を行っています。

(単位:億円)



有価証券の時価情報について

当金庫は、公社債を中心に安全性を重視した堅実な運用を行っています。

満期保有目的の債券

(単位:百万円)

	令和4年3月末					令和4年9月末				
	貸借対照表計上額	時価	差額	うち		貸借対照表計上額	時価	差額	うち	
				うち益	うち損				うち益	うち損
満期保有目的の債券合計	14,902	14,889	▲13	101	114	16,350	15,937	▲412	63	475
地方債	10,202	10,282	79	91	11	9,850	9,863	12	63	50
その他	4,700	4,607	▲92	10	102	6,500	6,074	▲425	-	425

その他有価証券

(単位:百万円)

	令和4年3月末					令和4年9月末				
	取得原価(償却原価)	貸借対照表計上額(時価)	評価差額	うち		取得原価(償却原価)	貸借対照表計上額(時価)	評価差額	うち	
				うち益	うち損				うち益	うち損
その他有価証券合計	109,304	109,424	119	907	788	113,993	112,286	▲1,707	582	2,289
株式	464	657	193	234	41	464	587	123	168	45
債券	98,628	98,895	267	664	397	98,924	98,064	▲859	404	1,264
国債	2,492	2,443	▲48	6	54	7,451	7,148	▲302	4	307
地方債	38,551	38,889	338	374	36	29,868	29,986	118	215	97
社債	57,585	57,562	▲22	283	306	61,604	60,929	▲675	184	859
その他	10,211	9,870	▲340	8	349	14,604	13,633	▲970	8	979

(注)「その他」は、外国証券および投資信託等です。

自己資本比率について

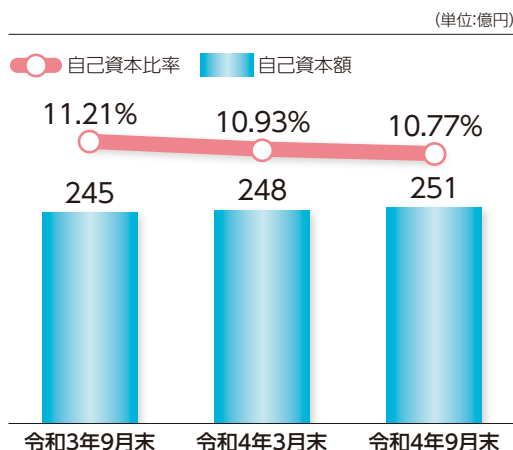
自己資本比率は、金融機関の健全性・安全性を示す代表的な指標です。

当金庫の令和4年9月末の自己資本比率は10.77%となり、国内で営業する金融機関に求められている基準の4.00%を大幅に上回る水準を維持しています。

なお、公的資金や劣後ローン等による自己資本の増加はありません。

(単位:百万円)

	令和4年3月末	令和4年9月末
自己資本の額	24,820	25,192
コア資本に係る基礎項目の額	25,016	25,410
コア資本に係る調整項目の額	196	217
信用リスク・アセット	218,588	225,378
オペレーショナル・リスク相当額の合計額÷8%	8,342	8,342
自己資本比率	10.93%	10.77%



業種別貸出金残高について

当金庫は、お客さまのさまざまな資金ニーズにお応えし、地域経済の活性化に貢献できるよう、積極的に融資を行っています。事業者の皆さまには設備資金や運転資金を、個人の皆さまには住宅ローン、消費性ローン等をご融資させていただいています。

(単位:先、百万円、%)

業種別区分	令和3年9月末			令和4年3月末			令和4年9月末		
	貸出先数	貸出金残高	構成比	貸出先数	貸出金残高	構成比	貸出先数	貸出金残高	構成比
製造業	145	2,849	1.41	145	2,780	1.34	144	2,767	1.30
建設業	407	8,124	4.02	402	8,772	4.23	415	8,657	4.08
情報通信業	35	760	0.37	39	749	0.36	45	852	0.40
運輸業、郵便業	44	1,413	0.70	43	1,556	0.75	45	1,605	0.75
卸売業、小売業	642	14,801	7.34	645	15,159	7.31	646	14,623	6.89
金融業、保険業	10	3,050	1.51	9	3,043	1.46	8	3,022	1.42
不動産業	1,214	92,743	46.00	1,226	96,428	46.55	1,212	101,690	47.94
物品賃貸業	3	58	0.02	3	46	0.02	3	45	0.02
学術研究、専門・技術サービス業	209	2,623	1.30	214	2,612	1.26	212	2,590	1.22
宿泊業	9	2,117	1.05	9	2,103	1.01	10	2,096	0.98
飲食業	802	10,614	5.26	790	10,529	5.08	798	10,325	4.86
生活関連サービス業、娯楽業	377	4,435	2.19	382	5,054	2.44	386	4,916	2.31
教育、学習支援業	49	2,301	1.14	47	2,136	1.03	47	2,190	1.03
医療、福祉	178	4,414	2.18	176	4,176	2.01	175	4,045	1.90
その他のサービス	752	14,082	6.98	756	14,365	6.93	749	14,458	6.81
小計	4,876	164,392	81.54	4,886	169,515	81.84	4,895	173,887	81.98
個人	4,150	37,209	18.45	4,057	37,597	18.15	3,961	38,213	18.01
合計	9,026	201,602	100.00	8,943	207,112	100.00	8,856	212,101	100.00

(注)業種別区分は、日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

不良債権（信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権）の状況について

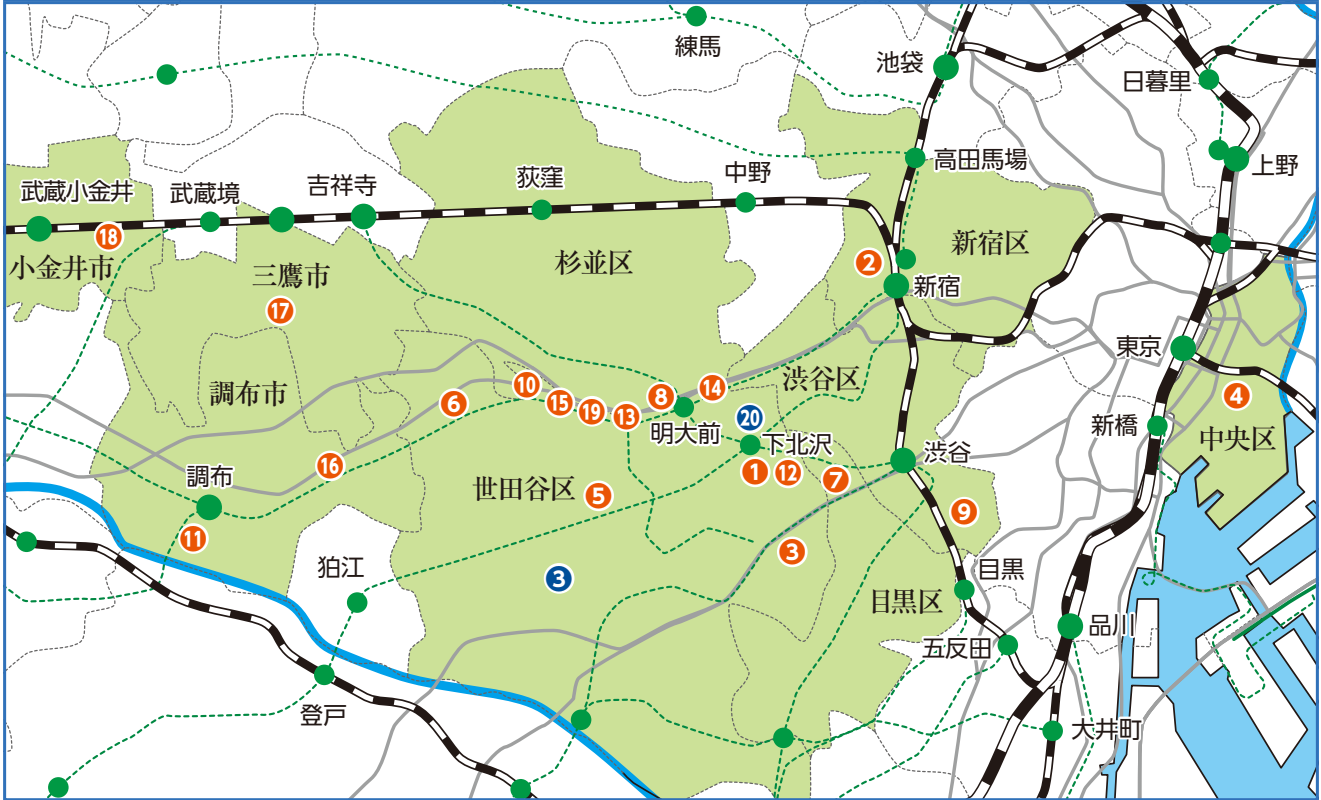
令和4年9月末時点の不良債権は65億9百万円、不良債権比率は3.06%です。不良債権65億9百万円に対しては、担保や保証49億4百万円と、貸倒引当金9億61百万円により90.10%が保全されています。その差額6億44百万円が未保全ですが、特別積立金206億31百万円により十分にカバーされています。

(単位:百万円、保全率・引当率=%)

	令和4年3月末						令和4年9月末					
	開示残高(A)	保全額(B)	担保・保証等(C)	貸倒引当金(D)	保全率(B)/(A)	引当率(D)/(A-C)	開示残高(A)	保全額(B)	担保・保証等(C)	貸倒引当金(D)	保全率(B)/(A)	引当率(D)/(A-C)
不良債権	6,655	5,936	4,880	1,056	89.19	59.50	6,509	5,865	4,904	961	90.10	59.86
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	261	261	237	24	100.00	100.00	344	344	318	25	100.00	100.00
危険債権	4,219	3,962	3,333	629	93.89	70.95	4,084	3,867	3,310	556	94.68	71.94
要管理債権	2,174	1,713	1,310	403	78.78	46.62	2,081	1,653	1,274	378	79.46	47.00
正常債権	200,810						206,026					
合計	207,466						212,535					

(注)令和4年9月末の金額は、同年3月末時点における債務者区分を前提とし、全債務者について9月末残高を反映させております。債務者区分の変更については、新たに財務状況を確認した先に関し債務者区分の見直しを実施しております。また、同年4月から9月末までの間に延滞、不渡り、倒産等の客観的な事実ならびに財務状況の変化等が把握できた債務者について、当金庫の自己査定基準により債務者区分の見直しを実施しております。なお、「貸倒引当金」には、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しております。

店舗ネットワーク



①	本部	〒155-0031	東京都世田谷区北沢1-38-14	☎ 03 (3422) 6182 (代)
①	本店	〒155-0031	東京都世田谷区北沢1-38-14	☎ 03 (3422) 6181 (代)
②	新宿支店	〒160-0023	東京都新宿区西新宿1-3-7	☎ 03 (3342) 3821 (代)
③	三軒茶屋支店(仮店舗)	〒154-0004	東京都世田谷区太子堂1-12-40	☎ 03 (3421) 6101 (代)
③	三軒茶屋支店 せたがや市場出張所	〒157-0074	東京都世田谷区大蔵1-4-1	
④	京橋支店	〒104-0041	東京都中央区新富2-4-2	☎ 03 (3552) 4091 (代)
⑤	経堂支店	〒156-0052	東京都世田谷区経堂2-3-2	☎ 03 (3420) 4121 (代)
⑥	烏山支店	〒157-0062	東京都世田谷区南烏山4-12-7	☎ 03 (3300) 1361 (代)
⑦	大橋支店	〒153-0044	東京都目黒区大橋2-22-5	☎ 03 (3469) 0315 (代)
⑧	明大前支店	〒156-0043	東京都世田谷区松原2-44-2	☎ 03 (3323) 0511 (代)
⑨	えびす支店	〒150-0013	東京都渋谷区恵比寿1-5-7	☎ 03 (3444) 4211 (代)
⑩	八幡山支店	〒168-0074	東京都杉並区上高井戸1-1-11	☎ 03 (3329) 1021 (代)
⑪	多摩川支店	〒182-0025	東京都調布市多摩川5-5-1	☎ 042 (481) 6211 (代)
⑫	池の上支店	〒155-0032	東京都世田谷区代沢2-44-14	☎ 03 (3422) 3141 (代)
⑬	下高井戸支店	〒156-0043	東京都世田谷区松原3-30-8	☎ 03 (3321) 4155 (代)
⑭	代田橋支店	〒156-0041	東京都世田谷区大原2-27-31	☎ 03 (3328) 0151 (代)
⑮	上北沢支店	〒156-0057	東京都世田谷区上北沢3-32-13	☎ 03 (3302) 8111 (代)
⑯	つつじが丘支店	〒182-0006	東京都調布市西つつじヶ丘3-31-2	☎ 042 (482) 0211 (代)
⑰	三鷹支店	〒181-0012	東京都三鷹市上連雀8-4-8	☎ 0422 (47) 3131 (代)
⑱	東小金井支店	〒184-0011	東京都小金井市東町4-42-21	☎ 042 (384) 1521 (代)
⑲	桜上水支店	〒156-0045	東京都世田谷区桜上水4-17-2	☎ 03 (3329) 3241 (代)
⑳	サポートプラザ	〒155-0031	東京都世田谷区北沢2-24-5	



昭和信用金庫

〒155-0031 東京都世田谷区北沢1丁目38番14号

<https://www.shinkin.co.jp/showa/>



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



本誌は、FSC®認証紙を使用し、
環境に配慮した植物油インキを使用しています。